

巻き込まれ型原光景（「ハブられても生き残るための深層心理学」より）
と共に考える精神分析、禁止、
川の字で寝る文化、
セクシュアリティ

現代精神分析研究会 シンポジウム・事例検討会

見るなの禁止と巻き込まれ型原光景

2023年2月26日（日）

事例検討会：10:30～12:00（対面のみ）／シンポジウム：13:30～17:30（ハイブリッド）

定員：90名・参加費3000円・参加資格：精神分析的な臨床家、大学院生

事例検討会（午前）

助言：北山修

シンポジウム（午後）

北山修	（個人開業）	すまない：劇的観点から見た人間の二重性
岡村斉恵	（初石病院）	禁止はなんのために？：はぐくみをめぐって
加藤隆弘	（九州大学）	『見るなの禁止』に覆い隠された『甘え』
笠井さつき	（帝京大学心理臨床センター）	『見るなの禁止』の中から生まれでるもの

指定討論

藤本裕子（牧病院） ・ 石田哲也（久留米大学）

司会

荻本快（相模女子大学） ・ 梅本園乃（足田病院）

申し込み方法

- 1) グーグルフォームでの申し込み (<https://bit.ly/3QsG9Is>)
- 2) 事務局宛に①お名前、②メールアドレスを本文に記入したメールをご送付ください。
事務局(ipasia2020@gmail.com)

- ・申し込み期限：2023年2月13日（土）正午
- ・参加費の納入はオンライン決済システムSquareでお願いしております。申し込み後、請求書をご送付します。入金確認後、希望者にWebinarのリンクをお送りします。

ハイブリッド開催に伴うお願い

- ・オンラインでの参加を希望する方は、事前にZoomのアプリケーションをダウンロードする必要があります。
- ・許可を得ずに個人的な使用を越えて発表内容を拡散することや、明記せずに個人の著作に引用することは禁止致します。